

日時

2026年 9月 16日（水）19:00～20:00

会場

オンライン会場（視聴方法は裏面をご覧ください）

講演

尋常性白斑の診断と治療 ～皮膚科と形成外科 連携の時代へ～

横浜西口菅原皮膚科

院長 三上 万理子 先生

ご略歴

平成9年 東京女子医科大学 卒業
同年 同大学糖尿病センター内科 入局
平成11年 横浜市立大学医学部皮膚科 入局
横浜市立大学病院、横浜市立市民病院、
国立相模原病院、などの勤務を経て現職
平成18年 菅原皮膚科クリニック
（現医療法人けいしん会横浜西口菅原皮膚科）
令和2年 東京女子医科大学皮膚科 非常勤講師
令和4年 横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学教室
客員講師
令和7年 横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学教室
非常勤講師
東京薬科大学薬学部 医療薬学科臨床微生物学教室 客員研究員
帝京大学医療技術学部臨床検査学科 客員研究員
琉球大学皮膚科学教室 客員研究員
日本ワンヘルスサイエンス学会 理事
クローバーヘルス インターナショナル 監事
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医 抗菌化学療法認定医
神奈川県皮膚科医会 幹事 横浜市皮膚科医会 常任幹事

アトピー性皮膚炎、尋常性白斑、尋常性乾癬、掌跖膿疱症などに有用な紫外線治療に関して、多くの経験と知識を持ち合わせ、基幹病院と地域連携を行う。特に尋常性白斑に関しては、日本中の先生方と連携し、メラノサイト含有自家培養表皮を移植された症例の術後フォローにも携わる。